

鴨志田第一小学校 学校だより



キャッチボール

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamoshida1/>

令和5年4月7日発行4月号



新年度を迎えて

校長 喜々津 好宏

いつもより少し暖かな春を迎え、桜も若葉が見え始めました。春の日差しが44名の新入生を迎え、全校児童が期待に胸をふくらませて令和5年度がスタートしました。保護者の皆様、お子さまのご入学、ご進級おめでとうございます。学校は、保護者、地域の皆様のご理解とご協力を賜りながら教育活動を進めて参ります。教職員一同、児童一人ひとりに寄り添いながら、しっかりと支援してまいります。何か心配なことがございましたら、どうかご遠慮なく担任等にご相談ください。大切なお子さんのことを親身になって保護者の方と一緒に考えていきます。

さて、4月1日より本市の学校教育活動においては、個人の主体的な選択を尊重し、児童・教職員ともマスクの着用を求めないこととされました。給食当番や校外学習で公共交通機関に乗車する際などを除き、マスクの着用は不要となります。一方で、3年間も長期間にわたり続いた感染症対策の影響により、マスクを外すことに抵抗感がある方も多くいることと思います。私は、無理をせず少しずつ元に戻っていくのがよいと思います。

学校行事やPTA行事についてもそうです。すべてをすぐにコロナ禍前に戻すことは難しいと感じます。教職員の働き方改革やPTAの見直しも求められています。よい機会ですので、様々な行事をどのようにしていくかを含めて検証していくことが必要だと考えます。

教職員の働き方改革については、引き続き喫緊の課題だと認識しています。教職員を目指す人材の不足は深刻で、どの自治体も人の取り合いになっている状況があります。小学校では、人事異動の際に正規の教職員数が配置できずに欠員を臨時的任用職員の任用で充足させています。この、臨時任用の教職員も不足しており、今後、産育休や病気等での休職が発生しても代替職員が来ないことが予想されています。欠員が発生した場合は、やむを得ず算数少人数授業の実施を見送ったり、児童支援専任を担任代行にしたりすることで対応することとなります。

横浜市教育委員会では、教職員の働き方改革を進めるため、市立学校職員の超過勤務時間縮減を目標にしており、月80時間を超える超過勤務をさせないことや午後7時までに退勤できるよう取り組むことを指標としました。本校でも、職員の勤務時間縮減に向けて、電話対応を午後5時30分までに短縮するなどの対応を検討しています。どうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

本年度は、10名の職員が新たに着任しました。そして、今年度も校長を勤めさせていただきます校長の喜々津 好宏です。新たな体制で、教職員一人ひとりが組織として協力・協働しながら、全力で取り組んでまいります。よろしくようお願い申し上げます。